

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>地域の中で暮らしていく上で、利用者本位の暮らしを支えていける様、独自の理念を事業所内に掲示している。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念に沿ったサービスを、常々心がけている。</p>	<p>月1度会議を開き、理念の実践又、利用者の状態等話し合いサービスに向けて取り組んでいる。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>家族や地域の人たちを交えて交流会を開き、理解を得る様努力している。</p>	<p>利用者や地域の人たちの交流・家族と地域の人たちの理解。交流会を開きお互い理解しあえるような取り組みをする。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>職員は挨拶や笑顔を忘れないようにし、近所の方々も気軽に立ち寄ってくれている。地域の方々を呼んでの交流会を行ったり、行事や祭り見学にも参加している。立ち寄ってくれる高齢者の方々とは、相談を請けたり話をしたりしている。</p>	<p>隣近所・地域の方々との挨拶や笑顔は忘れず、交流会も行い、行事や祭りのときは参加してもらっている。高齢者の方々も、立ち寄ってくれる。相談を受けやすい雰囲気につけている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価結果を職員一同で見えるようにし、問題改善に向け努力している。</p>	<p>外部評価結果は職員一同で話し合い評価を活かして問題改善に向けて取り組んでいる。</p>
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>意見を大事にし、次につなぐ様にしている。</p>	<p>運営推進会議では、利用者やサービスの取り組み状況等報告し、話し合い意見交換を行い、次につなぐ様にしている。</p>
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>市担当者との連絡は随時ある。</p>
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修などで学んだことをいつでも活かせるようにしている。</p>	<p>研修に参加しており、必要な時にすぐ対応できる様にしている。</p>
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>あってはならない事なので、特に注意を払っている。</p>	<p>職員一同あってはならない事なので、特に注意を払っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に際しては重要事項説明書に基づき、十分説明している。</p>	<p>契約の際十分説明を行い、利用者や家族等の不安、疑問点をたずね理解納得を図っている。</p>
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>個々に対応しており家族にも活かせる機会を設けている。</p>	<p>玄関先に意見箱を置いている</p>
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問時に報告しているが、健康状態はその都度、電話連絡している。</p>	<p>毎月ホームの便りを写真入りで(家族の了解を得ている)作成し、家族へ送っている。健康状態等に変化がある時は、その都度電話連絡している。</p>
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情や窓口に関しての掲示をしている。</p>	<p>家族からの苦情があれば職員会議等を開き対応策等を話あう。</p>
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議等で聞く機会を設けているが、その時に関わらず意見が出た場合、日常的に聞いている。</p>	<p>職員会議以外に意見や提案が出た場合は常に聞いてくれ反映してくれる。</p>
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>対応できる様、勤務状態を考えている。</p>	<p>常に対応出来る勤務体制をとっている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職もなるべくない様に心がけている。</p>		<p>離職もなるべくない様にチームワークが良くなるような体制に努力している。</p>
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修には出来るだけ参加させ、向上心を持つように全職員に働きかけている。</p>		<p>研修に参加し、その報告も行っている。研修内容はノートにまとめいつでも振り返れる様にしている。</p>
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>交流する機会は特段設けていないが、情報交換の機会はある。</p>		<p>研修会に参加し、管理者が知り合いのグループホームとの情報や、見学等をしている。</p>
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>			<p>なるべく会話をし、話を聞くようにしている。</p>
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>			<p>各自が向上心をもって働けるよう職員の状態を把握し取り組んでいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	全職員会話を持つように心がけている。家族の協力が不可欠なので、家族の意見も大事にして聞いている。	十分に話せる機会を作り気持ちをよくみ取れるよう努力している。
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	必要な介護サービスを支援している。	必要な介護サービスが出来る様努力している。
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	混乱しないようゆっくり馴染めるような環境作りを心掛けている。	本人の暮らしぶりを理解すると共に馴染んでいける様心がけている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		尊重しながら日々の介護に努め又、支えあう関係を築いている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族にも協力をお願いし、参加してもらう事もある。		利用者と職員が一緒になり、家族的に喜怒哀楽を共に支えていく関係を保っている。
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が来ると、とてもうれしそうにしているので、このままよい関係が続くようつとめている。		家族との面会時お茶等で良い雰囲気が保たれるようにしている。
27 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			時々外出の機会を作り、本人の希望の場所へ連れて行くようにしている。
28 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている			日常生活で孤立しないよう気をつけ、全員が楽しめるようにしている。
29 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	疎遠にはなるが、こちらではその後の状況など家族に聞いている。		サービス利用が終了した家族に、その後の状況等聞いたり、ホームで開く地域交流会に参加してもらったりしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>なるべく希望に沿うようにして、一人一人の暮らしを大事にしている。</p>	<p>個々の性格を踏まえて、要望や意向に沿うようにしている。</p>
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族等から生活歴などくわしく聞き、把握するようにしている。</p>	<p>家族からも十分情報を提供してもらっている。</p>
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>必ず職員の目が届くように気をつけている。</p>	<p>よく状態を観察し理解できる様努力している。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族はもちろん職員からも意見を述べてもらい、それらを反映した介護計画を作成している。</p>	<p>本人と家族の意向を取り入れる様にしている。職員にも意見を聞き職員全体で考える介護計画を作成している。</p>
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態の変化があった時は、見直しを行っている。</p>	<p>状態に応じて見直しを行うときもある。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別に作ったノートに気付いた事など記入し、職員全体が目を通し情報を共有するようにしている。		職員が記入する独自の記録シートを作り計画書見直し時には参考している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じた柔軟な対応をしている。		本人家族の状況などによる変化等に応じて柔軟な対応をしている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	各機関共、交流を深め協力をお願いしている。		各機関と連絡をとりあい協力をお願いしている。
38	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	話し合いの機会はないが、情報を得ることはある。		必要な時は情報交換を行っている。
39	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの連携は常に行っており、ケアマネジメント等については協働している。		地域包括支援センターとの連携は必要に応じて行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の了解を得た医療機関で受診している。		本人・家族が希望し安心して診てもらえる医療機関へ受診してる。又、医師より適切な指示も受けられ良いつながりも取れている。
41 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関を確保して、いつでも気軽に相談することが出来る様、診断や治療を受けられるよう支援している。		協力医療機関を確保できている。
42 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が勤務しているので対応できている。		看護師が勤務しているので対応できている。
43 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関や家族とも情報交換や相談をし、早期退院につながるようにしている。		医療機関や家族との相談を密にし早期退院が出来るようにしている。
44 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族との連絡を常にし状況を理解した上で、方針を共有するようにしている。		家族にすぐに報告し常に連絡をとり、かかりつけの病院と話し合い方針を共有する。
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている			本人や家族の意見を大事にし、臨機応変に応じてできるだけだけの協力はしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>46 住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>よりよい生活を送れるように本人、家族の希望や状況を基に情報を集め、ダメージを防ぐ様に努力している。</p>		<p>本人や家族の希望や状況を基に住み替えによるダメージを防ぐことに努力している。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>47 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>			<p>利用者を尊重しプライドやプライバシーを損なう事はしないよう気をつけている。</p>
<p>48 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>無理強いなどせず本人の意思できめ、納得できる生活を送れるよう支援している。</p>
<p>49 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一応一日のスケジュールは決まっているのだが、その人に適した行動がとれるようにしている。</p>		<p>一人一人のその日の暮らしを優先し、支援している。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>50 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理容・美容は本人の希望通りにしている。</p>		<p>理容・美容は本人の希望で支援している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みを把握しており、個別に違うメニューを提供している時もある。		個々の好みをメニューに取り入れて出来る範囲で食事の準備、片付けを行っている。
52 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している			飲食物は個々の要望で、その都度提供できるよう好みの物を、各自用意している。
53 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来るだけトイレでの排泄と考えているので職員の介助でトイレ対応している。		一人一人の排泄習慣を知り時間毎の声掛けを行っている。
54 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴だが、本人の意向に沿った入浴方法に努めている。		本人の意向に沿った入浴方法に務めている。(週3回)
55 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している			その時の状況(外出や散歩・行事等)に応じて、休みたい時に休める様、配慮している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			家事や畑作業、歌や踊り等、好きな事や得意な事で、はりのある生活を送れるようにしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小遣いを所持している利用者もいるが、買物の際には職員もついて行き楽しめる様に努めている。		ホーム内の買い物 ヤクルト・パン販売 月2回
58 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体力に応じて近所への散歩や買い物など、天気が良ければ出来る限り戸外で開放感を味わってもらおう。		天候や体調に配慮した上で希望にそった外出を心掛けている。
59 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	空になった自宅の様子や、世話をしていない自宅の畑など、気になる時は家族や職員と一緒に出かけしている。		外出の他個人的に行きたい所を連れていけるようにしている。
60 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要な時にはかけられる様にしており、又代わりにかけてあげている。		電話は自由にさせているが、掛けられない人は職員が手伝っている。(月1回のホーム便りで支援している)
61 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を設けていないので、好きな時に気軽に訪ねてくれるよう、配慮している。		面会時間を決めてないので、いつでも気軽に訪問できる様にしている。
(4)安心と安全を支える支援			
62 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束しないケアを理解し取り組んでいる。		身体拘束のないケアを実施している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			日中の鍵かけは行っていない。
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は必ず職員が見守り、夜間も居室が見えている場所にいるようにしている。		昼夜職員が見守り、利用者の居場所を把握し、安全に務めている。夜間は定時の巡視をしている。
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要なものは、職員が管理しているが必要に応じている。		家族、利用者とは良く話し合い徐々に職員が管理している。
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個人に特に注意の必要な事を把握し、事故防止に努めている。		個々の注意点を知り日頃の勉強会等で知識を学んで、事故防止に取り組んでいる。
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている			応急手当のマニュアルを用意しており、普段からよく目を通すようにして、夜間や緊急時の電話連絡方法も掲示している。
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			避難訓練、避難通路の確保、消火器の使い方、消防への連絡方法等の訓練を行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こりえるリスクについては、その都度家族に説明している。		その都度家族に説明している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃から、バイタルチェックなどで体調管理につとめ、異変に気付いた時は、すぐ受診等対応している。		身体の異変の早期発見、毎日のバイタルチェック等で健康管理に務めている。
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬管理は職員が行い、把握するようにしている。		一人一人の介護日誌に処方箋を備えて、職員はいつでもわかるようにしている。
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日中の運動や食事に気を配っている又、排便管理を毎日行っている。		毎日の運動食事に気を配っている。(水分補給等)
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後必ず職員の歯磨きの説得や、介助を行っている。		毎食後の歯磨き、うがいを職員と一緒にしている。
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			適度に水分補給を行い、決まっている他に状態に応じて回数を増やしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)			集団生活のため入居のとき診断書提出。インフルエンザ予防接種を行い又、衛生面で気をつけ、共用部分等の消毒の徹底を行っている。
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている			食器・調理器の定期的な消毒、調理者の手洗いをを行い、食材の管理など気をつけている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	開放感のあるガラス張りの玄関に、草花を飾り安心して出入りできるよう工夫している。		玄関先には花壇、草花を飾り、家庭的な雰囲気で見やす工夫している。
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			季節を感じる室内装飾を心掛け、居間には個別の座布団や膝かけなどおいて、のんびり過ごせるようにしている。
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている			利用者同士話ができるように椅子の配置を考え、又広い場所を確保する場合は、椅子を寄せたりして工夫している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>80</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>必要に応じて居間の模様替えをしたり、座る場所を替えたりしている。</p>		<p>本人の要望と家族との話し合いで居心地よく過ごせるように工夫している。</p>
<p>81</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>使い慣れた物や、必要な物を持ってきてもらい、住み心地よく生活していける様にしている。</p>		<p>適度に窓を開け空気の入替え外気温との差がないように配慮している。</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>82</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりや段差のない床になっており、玄関前もスロープにしている。</p>		<p>手すり段差のない床、玄関前もスロープになっている。利用者の立場になり自立した生活が送れるように配慮している。</p>
<p>83</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>分かりやすいよう大きな字で場所を表示したり、混乱のないよう職員がさりげなくサポートしていく。</p>		<p>利用者が何をしたいか、何を望んでいるかしっかり受け止め、利用者に協力してあげ混乱をなくする。</p>
<p>84</p> <p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>玄関前に花瓶や椅子を置き、座りながらのんびりと、花や外の空気を楽しめるようにしている。</p>		<p>玄関、庭などには季節の花を植え、利用者の目に届く配慮をしてる。椅子もあり天気の良い日は座り語り合う。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者、職員の家族的チームワークを大切にしている